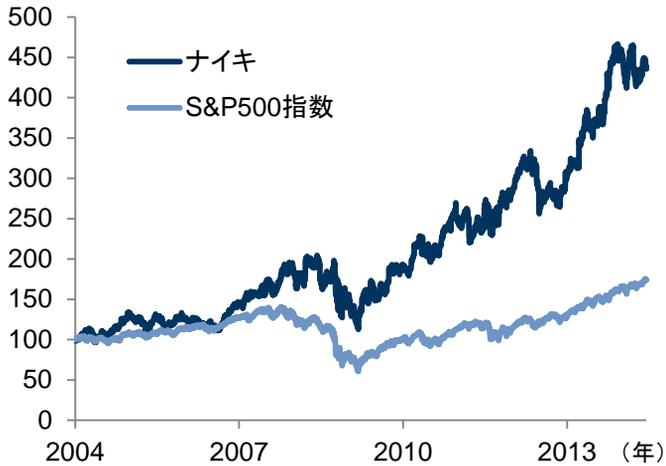


# 米国株式 個別企業のご紹介

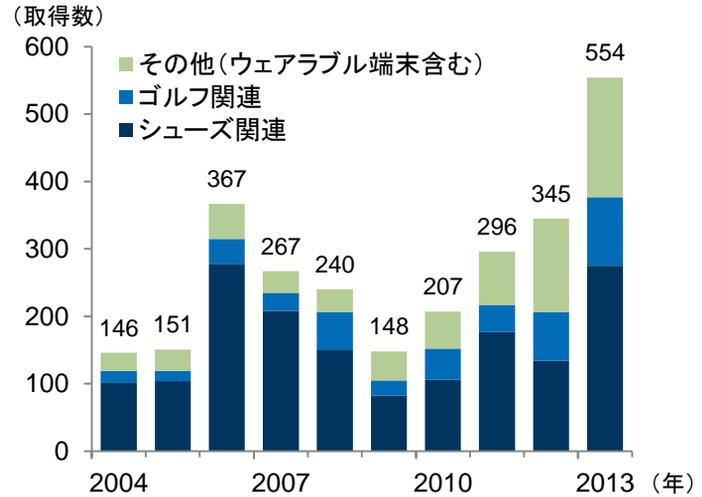
## ナイキのご紹介

### 株価の推移



出所:ブルームバーグ、期間:2004年1月1日から2014年6月17日  
2003年末を100として指数化

### ナイキの取得特許数の推移(年間)



出所:米国特許商標庁、GSAM 期間:2004年から2013年

## スポーツ用品のリーディング・カンパニー

- ナイキはスポーツ・シューズを中心に、スポーツ関連の衣料や製品の開発／販売を手掛けます。近年ではアクセサリやウェアラブル端末(身に着けて使用する電子機器)の開発にも注力し、マーケット・シェアを拡大しています。
- もともとは日本のシューズ・メーカーの米国輸入販売業者として創業したナイキですが、次第に自社製品を開発するようになり、現在では世界170以上の国と地域で自社製品の販売、ネット通販、卸売ならびにライセンス契約による販売を行っており、世界中のほぼ全ての地域でスポーツ・シューズ・メーカーとしてトップクラスのブランドを築き上げています。

## 他社の追随をゆるさない技術革新

- ナイキは技術開発に重きを置いており、1980年代にナイキ・エア(シューズのインソールに空気を注入してクッション性を高めたシューズ)が爆発的にヒットして以降、革新的製品を世に送り続け、他社からの参入障壁を高く保っています。
- 近年では特許取得数に拡大傾向が見られ、特にシューズ以外のゴルフ関連や、ウェアラブル端末に関連した技術の特許取得が増加し、売り上げにおけるシューズ以外の部門の寄与も拡大しています。
- また2013年には、3Dプリンタ技術を用いて造形された複雑なデザインのシューズやバッグを発表するなど、他社とは一線を画した製品開発を継続しています。

## 今後の見通し

- ナイキはすでに世界各地でトップクラスのシェアを持ちながらも、そのブランド力と技術的優位性によって今後もマーケット・シェアを拡大し、売上は増加していくとみています。
- 利益の半分以上は米国外に由来するものであり、特に新興国の中間所得層が拡大することでナイキ製品の利用者が拡大することが予想される中、同社は今後も長期的に成長していくと考えています。